

予算執行状況等をお知らせします

平成19年度決算の概要

○一般会計

一般会計の最終予算額159億9,686万円に対し、歳入決算額160億200万3千円（執行率100.0%）、歳出決算額158億7,103万2千円（執行率99.2%）で、歳入歳出差引額1億3,097万1千円の剰余金が生じ黒字決算となりました。

歳入は、地方交付税が全体の41.2%を占め、次いで市税18.8%、市債8.1%、繰入金7.9%となっており、前年度決算額と比較すると9億9,844万9千円の増となっていますが、これは、土地開発基金の繰入による繰入金の増が主な要因となっています。

また、市が独自に調達できる自主財源は、前年度と比較すると自主財源総体の構成比では6.2ポイント増となり、12億7,579万8円の増となっています。

歳出では、目的別にみると職員費を除き、民生費、公債費、総務費、土木費で51.3%を占める構成となっています。

性質別では、義務的経費（人件費、扶助費、公債費）の総額は76億8,516万9千円で、前年度対比7,601万1千

円（▲1.0%）の減となりました。

普通建設事業では、市営住宅整備事業、交通安全施設等整備事業、学校給食共同調理場統合事業、消防ポンプ自動車購入事業等、補助・単独事業を併せて総額15億9,061万9千円の各種事業を実施しましたが、前年度対比では7,809万1千円（▲4.7%）の減となりました。

【歳出】

目的別歳出	決算額	構成比
1. 職員費	33億368万8千円	20.8%
2. 民生費	27億6,610万9千円	17.4%
3. 公債費	22億9,070万円	14.4%
4. 総務費	15億5,117万4千円	9.8%
5. 土木費	15億4,376万6千円	9.7%
6. 衛生費	13億4,952万円	8.5%
7. 諸支出金	11億3,236万8千円	7.1%
8. 教育費	8億9,709万3千円	5.7%
9. 農林水産業費	4億2,551万6千円	2.7%
10. その他	6億1,109万8千円	3.9%
合計	158億7,103万2千円	100.0%

【歳入】

区分	決算額	構成比
自主財源	55億1,494万9千円	34.5%
市税	30億753万3千円	18.8%
繰入金	12億6,573万5千円	7.9%
使用料及び手数料	4億2,912万2千円	2.7%
諸収入ほか	8億1,255万9千円	5.1%
依存財源	104億8,705万4千円	65.5%
地方交付税	65億8,572万円	41.2%
市債	12億9,840万3千円	8.1%
道支出金	10億2,376万9千円	6.4%
国庫支出金ほか	15億7,916万2千円	9.8%
総額	160億200万3千円	100.0%

性質別歳出	決算額	構成比
1. 人件費	36億2,001万9千円	22.8%
2. 公債費	22億9,070万円	14.4%
3. 物件費・維持補修費	19億4,670万8千円	12.3%
4. 扶助費	17億7,445万円	11.2%
5. 普通建設事業費	15億9,061万9千円	10.0%
6. 補助費等	15億8,360万1千円	9.9%
7. 貸付金	13億9,228万4千円	8.8%
8. 繰出金	8億2,515万5千円	5.2%
9. その他	8億4,749万6千円	5.4%
合計	158億7,103万2千円	100.0%